

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	240	1年	後期	看護学科	必修	看護アセスメントⅠ Nursing AssesmentⅠ	15	1
担当教員								
田中 昭子	中平 洋子	香川 里美		北川 恵		谷本 淳子	森 敬子	
坂元 勇太								
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
病気や障害をもちながら日常生活・社会生活を営む対象の立場に立ち、生活者として対象を理解するための看護職の基本的な姿勢を養う。								
到達目標（授業目標）								
<ul style="list-style-type: none"> 看護の対象となる人々の生活・ライフスタイルの多様性、健康・家族・社会との関連について理解することができる。 病気が人間の生活に与える影響について理解し、その人らしく生活する上での目標および目標達成のために必要な支援等を検討することができる。 								
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）							

1回	<p><生活者としての人間>担当教員：田中昭子 オリエンテーション（授業概要、到達目標、展開方法についての説明） 対象を生活者としてとらえる必要性 体験を聴く当事者の概要 体験を聴く当事者の病気・治療・利用している社会資源などわからないことについて文献学習し、対象を生活者としてとらえるために必要な視点を整理する。（自己学習）</p>
2回	<p><生活者として捉えるための視点の整理>担当教員：中平 洋子・香川 里美・北川 恵・谷本 淳子・森 敬子・坂元 勇太 自己学習の内容を共有し、教育協力者に質問したいことを整理する。（グループ学習）</p>
3回	<p><当事者の体験から学ぶ>担当教員：田中昭子 当事者の体験を聴く（教育協力者） 質疑応答</p>
4回	<p><病気による生活への影響>担当教員：中平 洋子・香川 里美・北川 恵・谷本 淳子・森 敬子・坂元 勇太 当事者の日常生活や社会生活は病気によってどのような影響を受けていたか、病気とつきあいがらどのように生活を工夫しているか共有し、さらに教育協力者に質問したいことを整理する。（グループ学習）</p>
5回	<p><その人らしく生活していくための目標と支援>担当教員：中平 洋子・香川 里美・北川 恵・谷本 淳子・森 敬子・坂元 勇太 対象が病気とうまく付き合いながらその人らしく生活していくうえで、今後の生活（人生）がどうあればよいか、望ましい姿（状態）について検討し、目標を設定する。その目標を達成するために必要な支援、資源、社会システムについて文献学習する。（グループ学習）</p>
6回	<p><その人らしく生活していくための目標と支援>担当教員：中平 洋子・香川 里美・北川 恵・谷本 淳子・森 敬子・坂元 勇太 発表に向けて発表内容を決定し発表資料を作成する。（グループ学習）</p>
7回	<p><学習内容の発表・まとめ>担当教員：全員 グループ発表により他のグループの学びを共有する。（発表会）</p>
8回	<p><学習内容の発表・まとめ>担当教員：全員 グループ発表により他のグループの学びを共有する。（発表会）</p>
9回	
10回	
11回	
12回	
13回	
14回	
15回	
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	
提出物（自己学習記録、体験レポート、グループワーク記録）60%、発表会（発表資料、内容、方法など）20%、参加状況20%。トータル60点以上を合格とする。	
教科書	なし
参考図書等	適宜紹介する
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）	

有意義なグループ学習のためには、授業時間外の自己学習が必要である。

関連科目

前科目	140	医療概論（共通）	201	看護学概論	208	基礎看護学実習Ⅰ				
後科目	232	家族看護論								

実務家教員

保健師（行政機関）	田中 昭子	中平 洋子				
看護師（医療機関）	香川 里美	北川 恵	谷本 淳子	森 敬子	坂元 勇太	

備考

--